

<研究名称>

“Medical Care STATION” +骨粗鬆症治療支援機能を使用した他職種連携強化を 24 週間実施した時の有用性の検討 –2 次パイロット–

<実施責任者>

整形外科 加茂 裕樹

<研究期間>

倫理審査委員会承認後～2020 年 9 月 30 日

<研究の目的・意義>

本研究は骨粗鬆症の治療一般の支援を目的とし、リエゾンサービス支援を通じた骨粗鬆症治療の治療継続率向上のため、骨粗鬆症学会理事長、アステラス製薬、演武レースにて共同開発を進める治療支援ツール開発の枠組みの中で行われる研究である。

本研究は全国 3 施設が参加して 2019 年 2 月より開始した同名の研究（1 次パイロット）の結果を受け、「骨粗鬆症に特化した機能」を MCS に追加し、骨粗鬆症マネージャーが中心となり、他職種間で患者の骨折予防等についての情報共有体制を ICT 上で構築することが、医療現場で実現可能かを全国 20 施設で検証することを目的とする。

また、MCS 内に「骨粗鬆症地域連携コミュニティ」のグループを立ち上げ、地域の医療・介護従事者の参加により、学会・講演会・治療に対する知識等の情報を共有することを目的とする。

<実施内容（方法）等>

当院で骨粗鬆症治療を受けている患者を対象として、ICT システムを医療・介護従事者が 24 週間利用することで、患者の症状・治療等における ICT システムを使った情報共有体制の有用性について検討する。

<倫理上問題になると考えられる事項、及びその他特記すべき事項>

MCS のシステムエラーやインターネット環境からの個人情報漏洩、今回の有用性の検証のために解析担当会社（エンブレース）の被験者情報閲覧がリスクとして考えられるが、データの取扱いには十分留意する。

<インフォームド・コンセントのための説明・同意に関すること>

同意説明文書を被験者に渡し、文書及び口頭による十分な説明を行い、被験者の自由意志による同意を文書で取得する。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  
〒070-8530

旭川市曙 1 条 1 丁目 1 番 1 号

旭川赤十字病院 整形外科 加茂 裕樹  
TEL 0166-22-8111 FAX 0166-24-4648